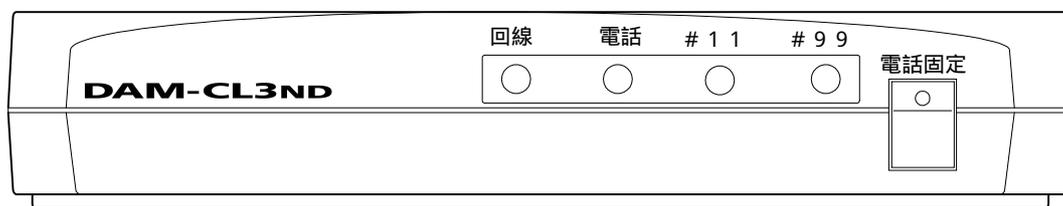


DAM-CL3ND

取扱説明書

ナンバーディスプレイ対応 電話回線自動切替機



ご使用の前に必ずお読みください。

このたびは、第一興商のDAM - CL3NDをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

DAM - CL3NDの優れた性能を十分に発揮させると共に、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。
お読みになった後は、必要に応じていつでも取り出せる場所に、保証書とともに大切に保管してください。

この製品は必ずAC100Vで使用してください。
AC100V以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因になります。

本機は、技術基準適合認定品です。

 株式会社 第一興商

安全上のご注意

ご使用の前に必ずこの『安全上のご注意』をよくお読みになり、正しくお使いください。
またお読みになったあと、必要に応じていつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示の欄は
『火災や人が死亡または重傷を負う危険が想定される』内容です。



警告

この表示の欄は
『火災や人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容です。



注意

この表示の欄は
『傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される』内容です。

絵表示の例



感電注意

記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容であることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



分解禁止

記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源プラグをコ
ンセントから抜け

記号は行為を強制したり指示する内容であることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

設置されるとき



危険



禁止

- ・表示された電源電圧 AC 100V 以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
- ・本機を使用できるのは日本国内のみです、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。
火災の原因となります。

危険



- ・本機後面の電話回線ネジ端子・電話機ネジ端子の金属部分に手を触れないでください。接続作業中に電話がかかってきたとき、ネジ端子に高い電圧がかかります。無理に手を触れると感電の原因となります。

警告



- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして大けがの原因となることがあります。
- ・本機を水に濡れる様な場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ・本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ・本機にテープ 巾着を掛けたり、じゅうたんや布団などの上に置かないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ・タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となることがあります。

注意



- ・直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に設置しないでください。ケースや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ・調理器や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

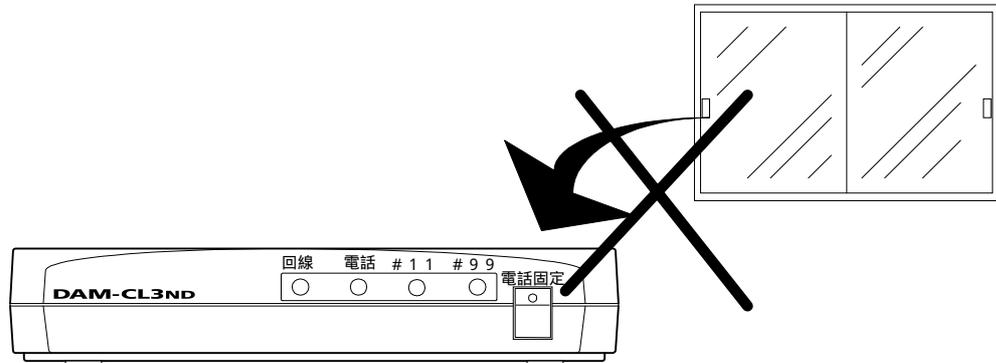


電源プラグをコンセントから抜け

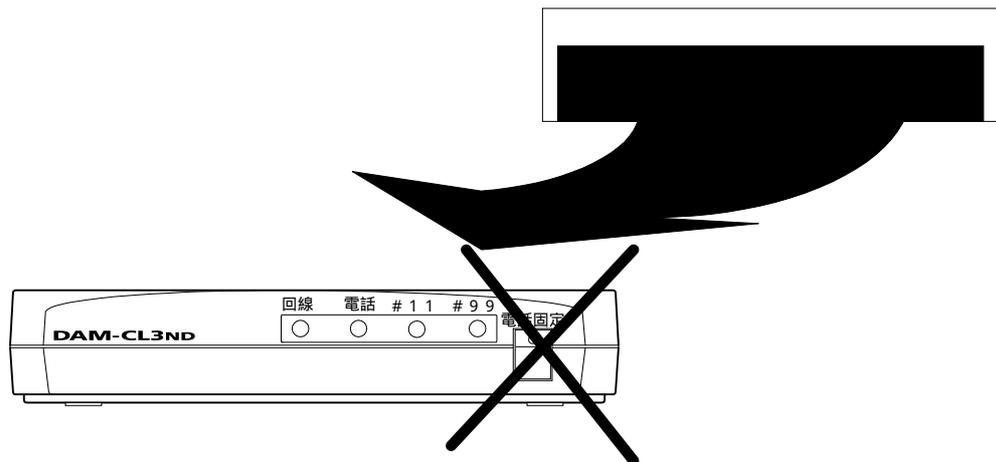
- ・他の機器と接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源プラグを抜いて接続してください。
- 本機の移動は必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

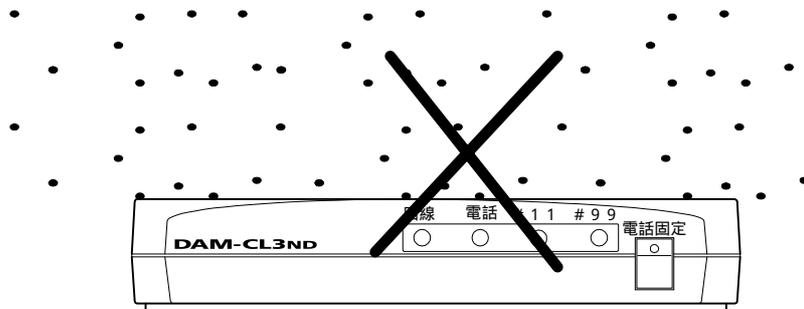
- ・寒冷地では、本機に直接外気が当たらない室内に設置してください。
火災・感電の原因となることがあります。



- ・冷暖房時に風が本機に直接当たらない場所に設置してください。
火災・感電の原因となることがあります。



- ・本機は精密機械ですので、ホコリやチリの多い場所はさけてください。
火災の原因となることがあります。



ご使用になるとき

警告

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。 ・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理にねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
 <p>分解禁止</p>  <p>感電注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本機のケースは絶対に開けないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は取扱店にご依頼ください。弊社の指定したサービスマン以外によってケースが開けられた場合にはその後の性能および品質については弊社は一切責任を負いません。 ・本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
 <p>接触禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雷が鳴り出したら、電源プラグおよび回線モデムプラグには手を触れないでください。感電の原因となります。
 <p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）取扱店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 <p>注意</p>  <p>電源プラグをコンセントから抜け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに（素手でなく、必ず厚手の手袋か乾いた布を使用して）電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、取扱店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。 ・万一、機器の内部に水や異物などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 <p>電源プラグをコンセントから抜け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・回線が切り替わらないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意



禁止

- ・本機の上に重いものや大きなものを置かないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- ・濡れた手で電源プラグを抜さないでください。感電の原因となることがあります。
- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



電源プラグをコネクタから抜く

- ・万一、本機を落としたり、ケースを損傷した場合は、電源プラグをコネクタから抜いて取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。
- ・移動させる場合は、必ず電源プラグをコネクタから抜き、外部に接続コードを外してから行ってください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ・長期間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコネクタから抜いてください。火災の原因となることがあります。

お使いになる前に十分ご理解ください

メモ

この取扱説明書に『メモ』として記載されている内容は、本機を正しくお使いいただくために、守っていただきたいことや、知っておいていただきたいことが書かれています。

重要

自動切り替え動作時に、電話をかけてきた相手には、こちらが電話に出なくても通話料金ががかかります。

自動切り替え動作時には、NTTの転送電話サービスはご利用できません。

NTTのキャッチホンサービスをご利用の場合、DAMの通信に傷害が出る場合があります。

自動切り替え動作時に、電話がかかってきた場合、電話のベルが鳴り始めるまで多少時間がかかります。（変更可能、頁12・15参照）

重要

設置につきましては、サービスマンと話し合い十分ご理解頂いた上で設置してください。

も く じ

頁

安全に正しくお使いいただくために 2 ~ 6

お使いになる前に十分ご理解ください 6

本機の特徴 8
付属品について 8
NTTへの届出が必要です 9

各部の名称と機能

各部の名称 10
表示ランプ 11
電話固定スイッチ 12
設定スイッチ 12 ~ 16

接続方法

電話回線の接続 17
電話回線の極性を調べる 18
電話回線の極性を合わせる 19
電話機の接続 20
ピンク電話機を接続する 21
DAMとモデムの接続 22
電源プラグを差し込みます 23

基本動作 24 ~ 25

基本操作を覚えましょう

- 電話の操作 -
電話をかける 26
電話を受ける (電話固定モード) 27
電話を受ける (自動切替モード) 28
- DAMの操作 -
営業を始めるとき 29
営業を終了するとき 30
- 電話固定スイッチの操作 -
自動切替モードにする 31
電話固定モードにする 31

こんなときには

ナンバーディスプレイサービスを利用する 32 ~ 34
「電話番号通知なし」おことわり機能を使用する 35
DAMを3台接続する 36
ピンク電話切替機 (ステーションP等) を接続する 37
ビジネスホンの主装置を接続する 38
増設ベル (フラッシュベル等) を接続する 38
その他の装置を接続する 39

故障かな?と思ったら 40

仕様及び外観 41 ~ 42

サービスについて 43

本機の特徴

ナンバーディスプレイ対応

電話端子にナンバーディスプレイ対応の電話機を接続できます。

(頁 3 2 ~ 3 4 参照)

「電話番号通知なし」おことわり機能

N T T のナンバーリクエストに加入せずに、本機がナンバーリクエストを代わりに行います。

(頁 3 5 参照)

電話回線自動切替

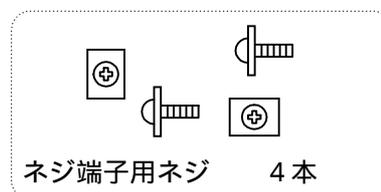
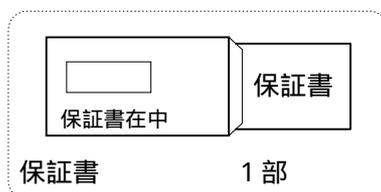
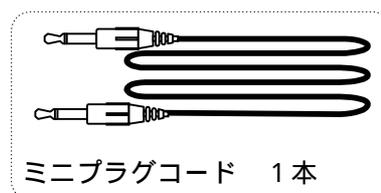
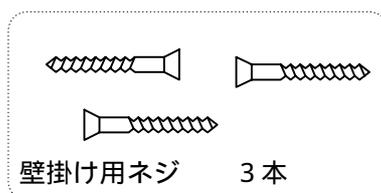
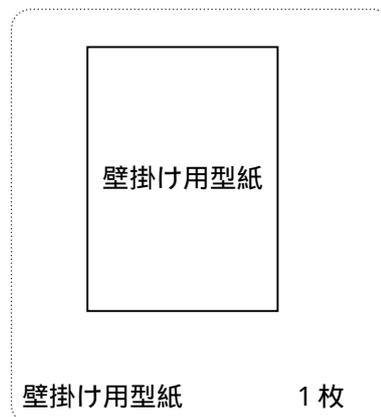
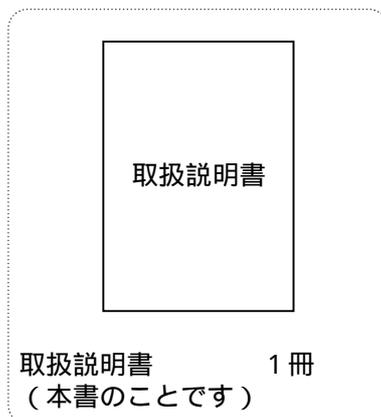
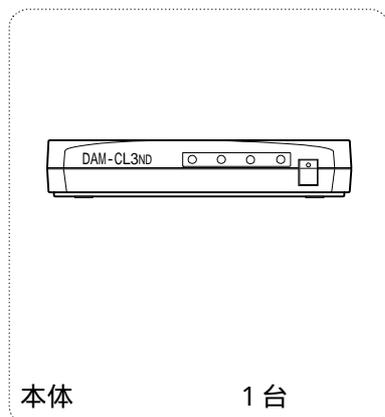
電話か D A M の配信かを、自動的に切替て新曲データを D A M につなぎます。(頁 2 8 参照)

付属品について

本機には、つぎのものが同梱されています。

本体と下記の付属品がそろっているか、必ずご確認ください。

万一、不足しているときや、違ったものが入っていたときは、お買い求めの取扱店か弊社までお知らせください。



メモ

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、取扱店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に取扱店名、購入日などの記載がありませんと、保証期間中でも有料修理となりますので十分ご注意ください。

NTTへの届出が必要です

本機をご使用の際には、NTTへの届出が必要です。

届出の方法は電話連絡、局番なしの『116番』又は、お近くのNTT支店・営業窓口備え付けの用紙で行うことができます。

機器名 : DAM-CL3ND

認証番号 : A00-0618JP

また、NTTのレンタル電話が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。

ご連絡いただいた日をもって、(機器使用料)は、不要となります。

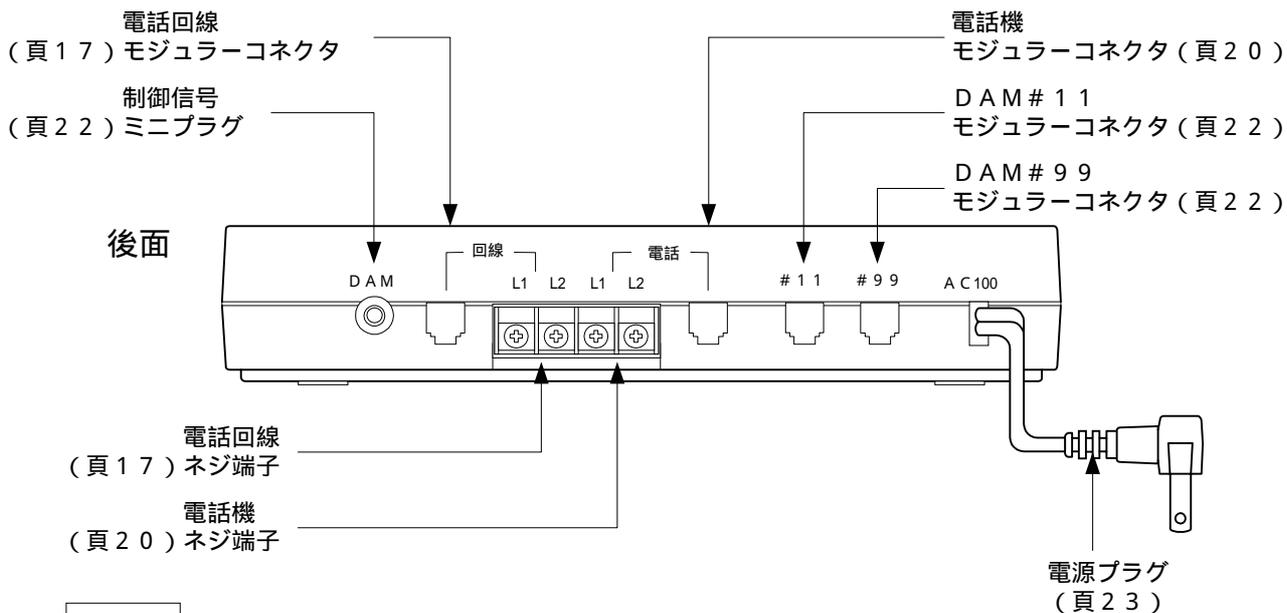
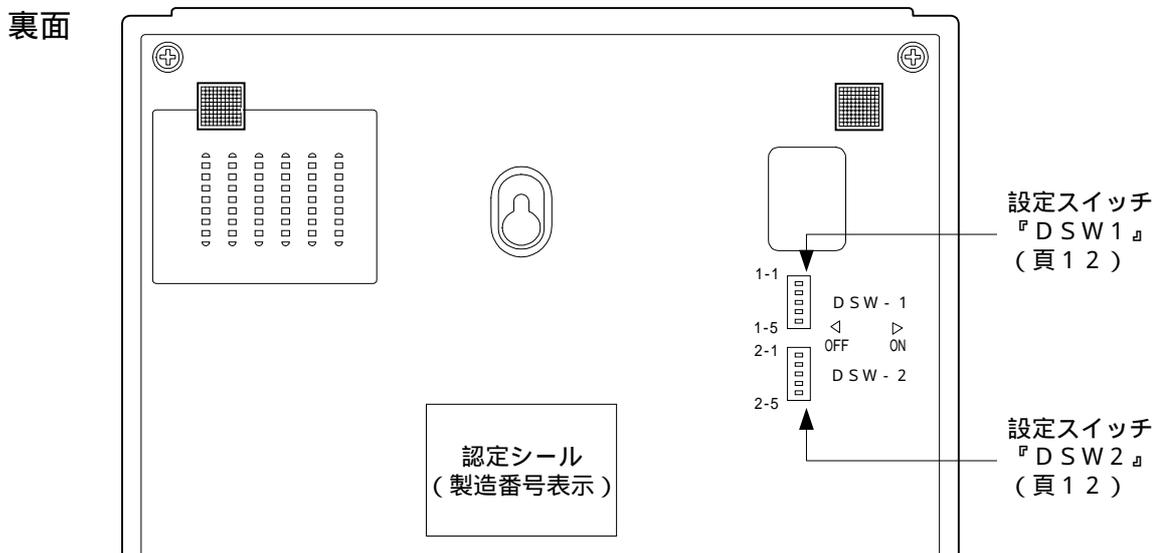
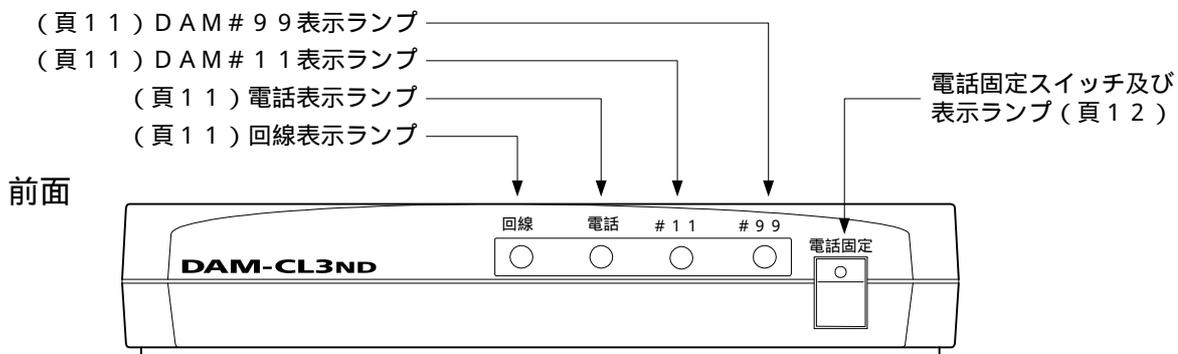
詳しくは、局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。

〔電話料金の内訳〕

回線使用料	ご契約者名義により住宅用と事務所に区別され、回線使用料が異なります。
屋内配線使用料	保安器から屋内の電話機の差し込み口までの屋内配線をNTTからレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
機器使用料	NTTの電話機などをレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
付加機能使用料	プッシュ回線、短縮ダイヤル、ボイスワープ、キャッチホン、クレジット通話などをご利用いただいている場合の付加機能の使用料です。

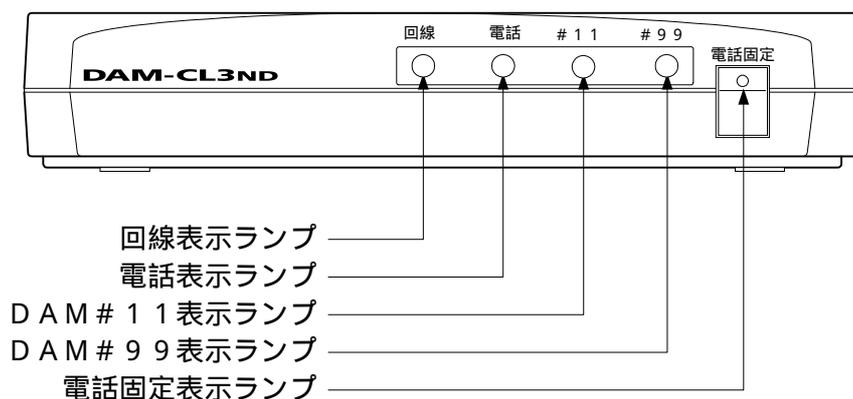
各部の名称と機能

各部の名称



メモ ()内の頁は、本文中に説明しているおもな頁です。

表示ランプ



設定された動作モードにより、待機時の各表示ランプは下記に示す状態になります。

状態	ランプ				
	回線	電話	#11	#99	電話固定
電話固定モード	●	○	○	○	●
自動切替モード	●	○	○	○	○
ナンバーディスプレイ対応モード	○	○	○	○	●
電源が接続されていない状態	○	○	○	○	○
電源が接続された直後の状態	●	●	●	●	●

メモ

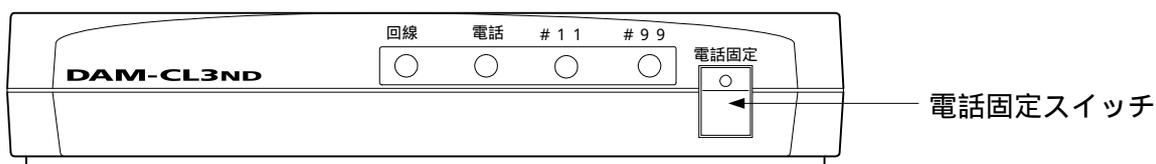
● 点灯
○ 消灯
⊖ 点滅 を表します。

表示ランプが点滅しているときは、自動切り替え中や、電話の呼び出し中などの何かの動作をしていることを意味します。

例) 自動切替モードで電話の呼び出し中

回線 ⊖ 電話 ⊖ #11 ○ #99 ○ 電話固定 ○

電話固定スイッチ



電話固定スイッチの動きは

『自動切替モード』と『電話固定モード』の切り替え（頁31参照）
電話回線の極性を調べる『回線極性試験モード』への切り替え（頁18参照）

上記2項目の切り替えを行います。

メモ ナンバーディスプレイ対応『あり』に設定したとき、モード切り替えは行いません。

設定スイッチ

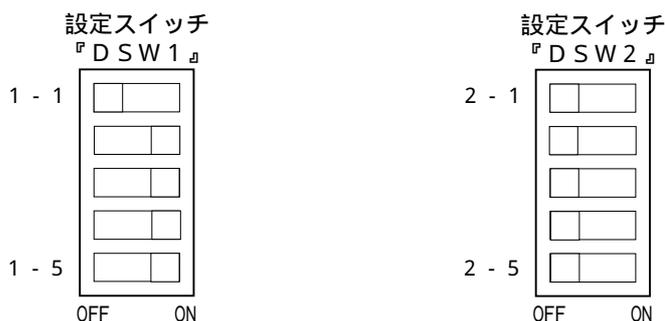
設定スイッチ機能一覧

DSW	設定内容	OFF側	ON側
1 - 1	着信同時呼出『あり/なし』設定	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
1 - 2	電話発信優先『あり/なし』設定	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
1 - 3	応答メッセージ『あり/なし』設定	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
1 - 4	自動切替モード移行『あり/なし』設定	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
1 - 5	電話呼出回数制限『あり/なし』設定	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
2 - 1	ナンバーディスプレイ対応『あり/なし』設定	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
2 - 2	パワーON時の動作モード『電話固定/自動切替』設定	<input type="checkbox"/> 電話固定	<input type="checkbox"/> 自動切替
2 - 3	自動切替監視時間の『8秒/5秒』設定	<input type="checkbox"/> 8秒	<input type="checkbox"/> 5秒
2 - 4	端末呼出周波数の『16Hz/20Hz』設定	<input type="checkbox"/> 16Hz	<input type="checkbox"/> 20Hz
2 - 5	「電話番号通知なし」おことわり機能『あり/なし』設定	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり

1 - 5を『なし』にすると、受話器をあげるか相手が電話を切るまで電話を呼び続けます。
呼び出し中は通話料金がかかります。

は工場出荷時の設定

工場出荷時のスイッチ状態



DSW1 - 1 : 着信同時呼出

あり : 自動切替モードで、仮着信と同時に電話の呼び出しを開始します。

【なし】 : 自動切替モードで、自動切替監視時間後、電話の呼び出しを開始します。

メモ

ナンバーディスプレイ対応の自動切替動作時には機能しません。

電話端子にDAMを接続する場合は、『なし』に設定してください。
『あり』に設定していると、電話端子(DAM#00)が先に着信し、
DAM#11及びDAM#99の切り替えが行えなくなります。

DSW1 - 2 : 電話発信優先

【あり】 : 電話以外が通信中のとき、電話の発信を優先させます。

DAM#11またはDAM#99が通信中(DAMの配信中)に電話機の受話器を上げると、通信中の回線を中断し、電話機と(DAM#11またはDAM#99)に“ツーツ ツーツ音”を流します。

電話機の受話器を戻して、再度受話器を上げると電話機と回線を接続します。
受話器を上げて、回線が開放されるまで約3秒間かかります。
通信が中断される前に、受話器を上げると“ツーツ ツーツ音”を流します。

なし : 電話以外が通信中に、電話の受話器を上げると、“ツーツ ツーツ音”を流します。(通信の中断は行いません。)

メモ

電話端子にDAMを接続する場合は、必ず『なし』に設定してください。

メモ

【 】は工場出荷時の設定

DSW1 - 3 : 応答メッセージ

- 【あり】：応答メッセージを流します。
『自動切替モード』で、仮着信と同時に疑似呼び出し音“ツルルル音”を流します。自動切替監視時間経過後、応答メッセージを流します。
- ・メッセージ
- “ただいま呼び出しております、しばらくお待ちください。”
- なし : 応答メッセージを流しません。
『自動切替モード』で、仮着信と同時に疑似呼び出し音“ツルルル音”を流します。自動切替監視時間が経過しても、応答メッセージは流れません。
(呼び出しに应答するまで疑似呼び出し音“ツルルル音”を流します。)

メモ

ナンバーディスプレイ対応『あり』設定時の、自動切り替え動作時も同様に機能します。

電話端子を#00で切り替えたとき(電話端子にDAM接続時)は『あり』に設定されていても、応答メッセージは流さず、疑似呼び出し音“ツルルル音”を流します。

DSW1 - 4 : 自動切替モード移行

- 【あり】：『電話固定モード』で、電話機を45秒以上(約15回)呼び出しても、受話器を上げないとき、次の着信から『自動切替モード』に切り替わります。
電話機を45秒以上(約15回)呼び出しても、受話器を上げたときは『自動切替モード』に切り替わりません。
- なし : 電話機を何度呼び出しても『自動切替モード』に切り替わりません。

メモ

ナンバーディスプレイ対応『あり』設定時は、機能しません。

DSW1 - 5 : 電話呼出回数制限

- 【あり】：『自動切替モード』の電話呼び出し中に、30秒(10回)呼び出しても、受話器を上げないとき、呼び出しを中止して相手の方にメッセージを2回流して、回線を切ります。
- ・メッセージ
- “呼び出しましたが近くにおりません、申し訳ございませんがおかけ直してください。”
- なし : 電話の受話器を上げるか、相手が電話を切るまで呼び続けます。

呼び出し中は通話料金がかかります。

メモ

電話端子を#00で切り替えたとき(電話端子にDAM接続時)は、『あり/なし』設定に関係なく、DAM#11・DAM#99呼び出し同様に、30秒(10回)呼び出した後、メッセージは流さず回線を切ります。

メモ

【 】は工場出荷時の設定

D S W 2 - 1 : ナンバーディスプレイ対応

あり : ナンバーディスプレイサービスに加入し、電話端子にナンバーディスプレイ対応の電話機または表示アダプタ等を接続することができます。

- ・ナンバーディスプレイ対応時の動作
ナンバーディスプレイ待機時は、『電話固定モード』同様に電話回線と電話端子を直接接続しております。
外から電話が掛かってくると、ナンバーディスプレイサービスの通信手順にしたがって、電話端子に接続したナンバーディスプレイ対応の電話機が動作します。ナンバーディスプレイ対応の電話機が発信者の電話番号等の情報を受信し、電話機が受信完了信号（回線の開放）を、N T T交換機に返すと同時に、本機が電話機を回線から切り離し、『自動切替モード』の動作を行います。

電話番号情報がユーザ拒否（184発信）以外のとき、電話機と回線は接続したままにし、自動切替動作することなく、N T T交換機の呼び出しベル信号で直接電話機を呼び出します。

【なし】 : ナンバーディスプレイサービスを利用しない場合はこちらに設定してください。

メモ

電話番号情報がユーザ拒否（184発信）のとき、ご使用の電話機または表示アダプタによって、『着信未応答』等のメッセージが、電話機または表示アダプタのディスプレイに表示されることがあります。

D S W 2 - 2 : パワーON時の動作モード設定

電源投入時の動作モードを設定します。

自動切替 : 電源投入時『自動切替モード』で動作を開始します。

【電話固定】 : 電源投入時『電話固定モード』で動作を開始します。

メモ

ナンバーディスプレイ対応『あり』設定時には機能しません。

D S W 2 - 3 : 自動切り替え監視時間の設定

『自動切替モード』動作時の、自動切り替え監視時間を設定します。

5秒 : 自動切り替え監視時間を5秒に設定します。

【8秒】 : 自動切り替え監視時間を8秒に設定します。

メモ

【 】は工場出荷時の設定

DSW2 - 4 : 端末呼出周波数の設定

『自動切替モード』動作時の、電話機、DAM#11、DAM#99、の各端子を呼び出す、ベルの周波数を設定します。

20Hz : 呼び出しベルの周波数を20Hzに設定します。

【16Hz】: 呼び出しベルの周波数を16Hzに設定します。

メモ

コードレス電話機等を接続したとき、親機のベルは鳴るが子機のベルが鳴らないとき等に、設定を変えてください。

DSW2 - 5 : 「電話番号通知なし」おことわり機能

あり : 電話をかけてきた相手が電話番号を通知しない場合、電話の呼び出しを行わずに下記メッセージを流します。

・メッセージ

“ 申し訳ございませんが電話番号の前に仔、ん、んをつけておかけ直してください。 ”

この機能を『あり』にすると、NTTのナンバーリクエストサービスと同等の機能が実現できます。

【なし】: 電話をかけてきた相手が電話番号を通知しない場合でも、電話の呼び出しを行います。

メモ

NTTのナンバーリクエストサービスには、加入しないでください。

ナンバーリクエストサービスに加入された場合、DAMの配信が行えなくなります。

メモ

【 】は工場出荷時の設定

接続方法

電話回線の接続

メモ 本機を電話回線に直接接続することを原則とします。

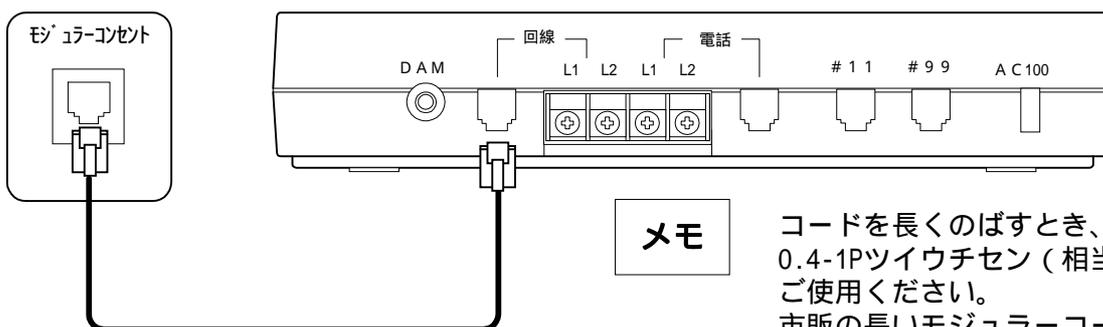
設置前に電話の使用形態（ダイヤルイン、着信専用、転送電話、NTT電話番サービス、キャッチホン等）、及び接続装置（フラッシュベルその他）、接続配線を確認してください。本機に接続できる回線は、一般加入者回線です。

ISDN回線やダイヤルイン回線には、直接接続することはできません。また、ホームテレホンやビジネスホンの内線に接続することはできません。

メモ 電話回線の極性を正しく合わせないと、正常に動作しない機器があります。（本機の回線端子のL1に電話回線の+48V側を接続してください。）ピンク電話を接続するとき、必ず電話回線の極性を合わせてください。電話回線の極性を正しく合わせないと、正常に動作しません。（頁18～19参照）

電話回線がモジュラーコンセントのとき

付属のモジュラーコードを、カチッと音がするまで差し込む。

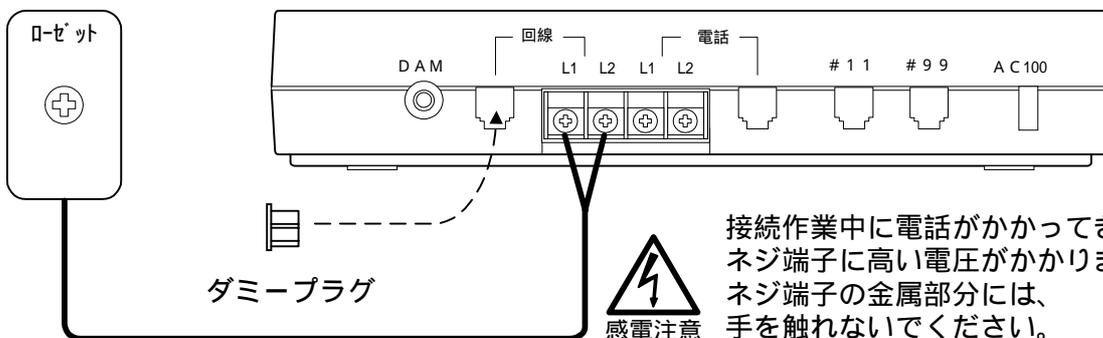


必ず付属のモジュラーコードをご使用ください。

メモ コードを長くのばすとき、0.4-1Pツイウチセン（相当品）をご使用ください。市販の長いモジュラーコードでは、DAMの配信などの通信に障害を及ぼすことがあります。

電話回線がローゼット（ネジ止め）のとき

メモ そのままでは接続することができませんので、お買い求めの取扱店にご相談ください。（ネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。）接続には、必ず付属のネジ端子用ネジをご使用ください。



接続作業中に電話がかかってきたとき、ネジ端子に高い電圧がかかります。ネジ端子の金属部分には、手を触れないでください。感電の原因になります。

感電注意

電話回線の極性を調べる

① 電話固定スイッチを押す。

②  電話固定スイッチを押したまま、電源プラグをもってAC100Vコンセントに差し込んでください。

注意

③ 表示ランプが下記に示す状態になる（回線極性試験モード）ので、回線の極性を調べる。

状態	ランプ				
	回線	電話	#11	#99	電話固定
回線極性L1がプラス	●	○	○	○	⊖
回線極性L1がマイナス	⊖	○	○	○	⊖
回線が未接続かショート	○	○	○	○	⊖

④ 回線の極性を調べたら、電話固定スイッチを押す。

メモ



点灯



消灯



点滅

を表します。

の操作で、60秒過ぎると回線の極性試験モードを終了します。

電話回線の極性を合わせる

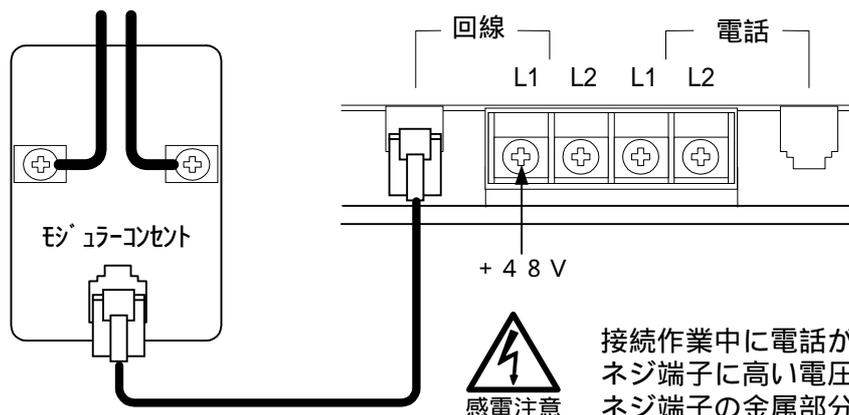
メモ

電話回線の極性を調べた結果が逆のときは、下記に示す方法で回線の極性を合わせてください。

ピンク電話機を接続されるときは、極性は必ず合わせてください。

電話回線がモジュラーコンセントのとき

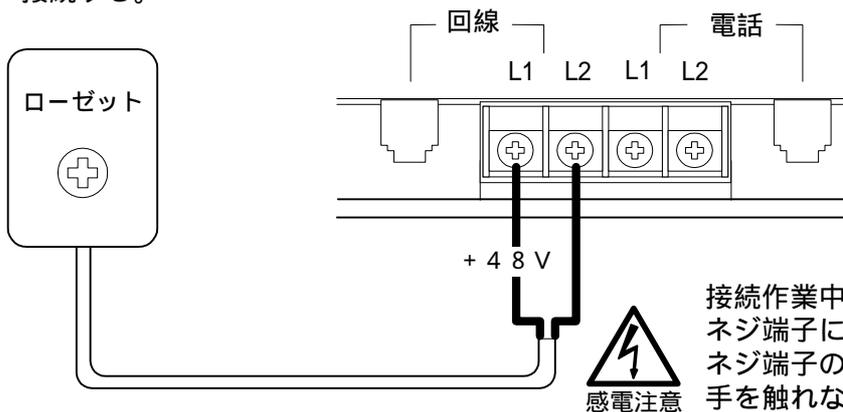
本機の回線ネジ端子のL1が+48V側になるよう、モジュラーコンセント内のネジ接続を合わせる。



接続作業中に電話がかかってきたとき、ネジ端子に高い電圧がかかります。ネジ端子の金属部分には、手を触れないでください。感電の原因になります。

電話回線がローゼット（ネジ止め）のとき

ローゼットからの電話回線を直接、本機の回線ネジ端子のL1に+48V側を合わせて接続する。

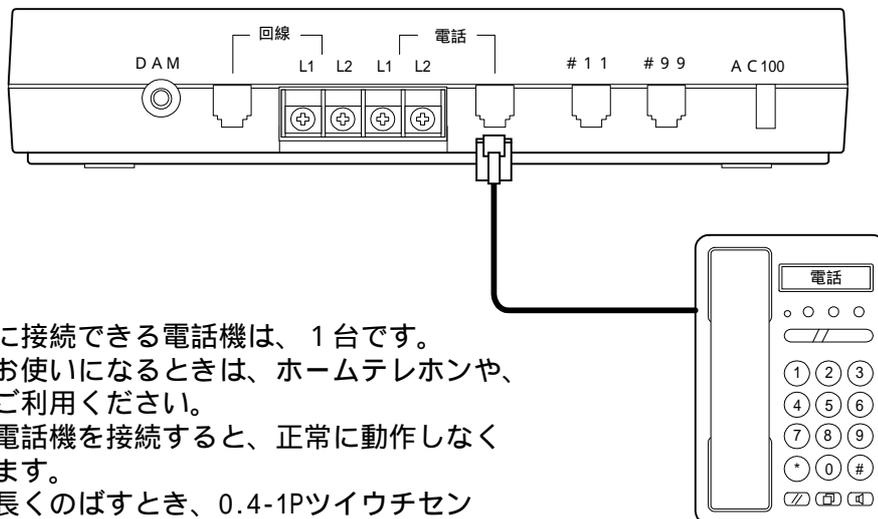


接続作業中に電話がかかってきたとき、ネジ端子に高い電圧がかかります。ネジ端子の金属部分には、手を触れないでください。感電の原因になります。

電話機の接続

電話機のコードがモジュラープラグのとき

電話機のモジュラープラグを、カチッと音がするまで差し込む。



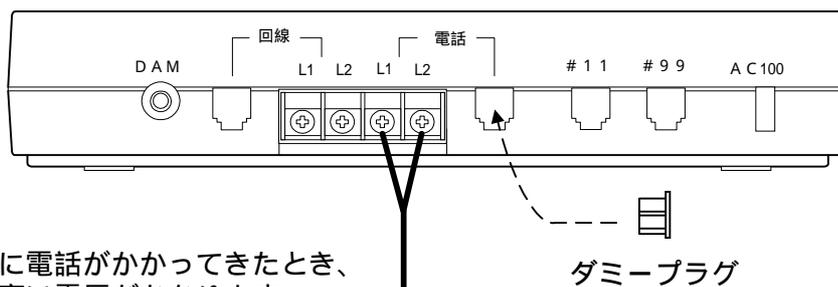
メモ

本機の電話端子に接続できる電話機は、1台です。
電話機を複数台お使いになるときは、ホームテレホンや、
ビジネスホンをご利用ください。
無理に複数台の電話機を接続すると、正常に動作しなく
なることがあります。
また、コードを長くのばすとき、0.4-1Pツイウチセン
(相当品)をご使用ください。
市販の長いモジュラーコードでは、正常に動作しない
ことがあります。

電話機のコードがネジ止め式のとき

メモ

そのままでは接続することができませんので、お買い求めの取扱店にご相談ください。
(ネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。)
接続には、必ず付属のネジ端子用ネジをご使用ください。



接続作業中に電話がかかってきたとき、
ネジ端子に高い電圧がかかります。
ネジ端子の金属部分には、
手を触れないでください。
感電の原因になります。

ダミープラグ

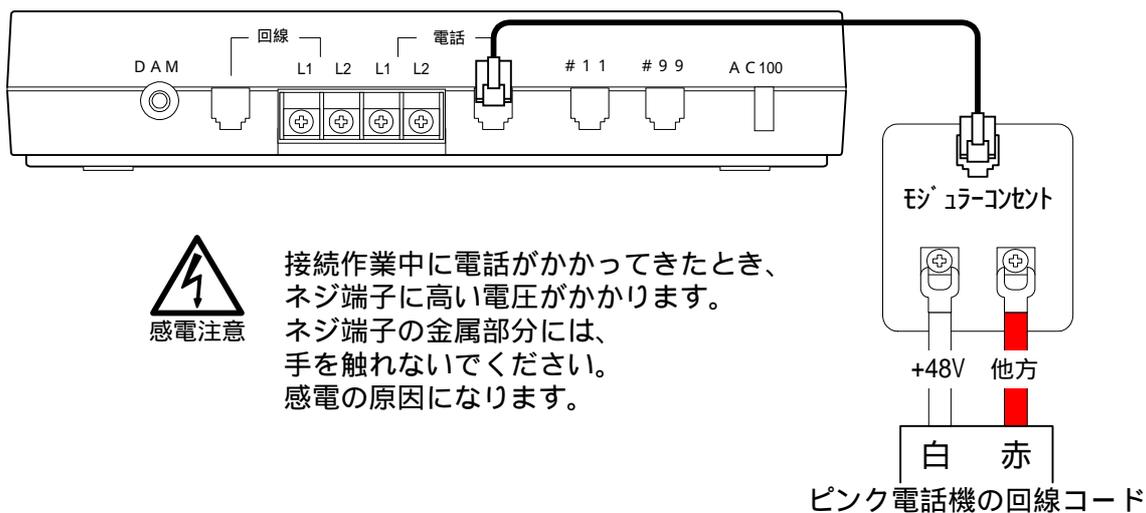
ピンク電話機を接続する

モジュラーコード接続のとき

モジュラーコンセントにモジュラーコードを接続し、モジュラーコンセントの+48V側にピンク電話機の回線コードの白色線を接続する。

他方に赤色線を接続する。

(回線コードの線が3本の場合、残りの1本はどこにも接続しない。)

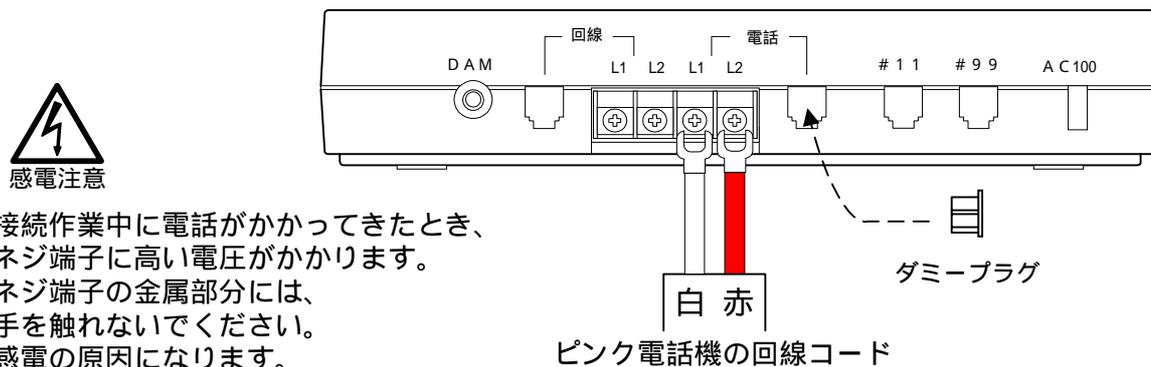


ネジ端子接続のとき

電話機ネジ端子のL1側にピンク電話機の回線コードの白色線を接続する。

電話機ネジ端子のL2側にピンク電話機の回線コードの赤色線を接続する。

(回線コードの線が3本の場合、残りの1本はどこにも接続しない。)



メモ

ピンク電話機の接続が完了したら、発信と着信の動作確認を行ってください。

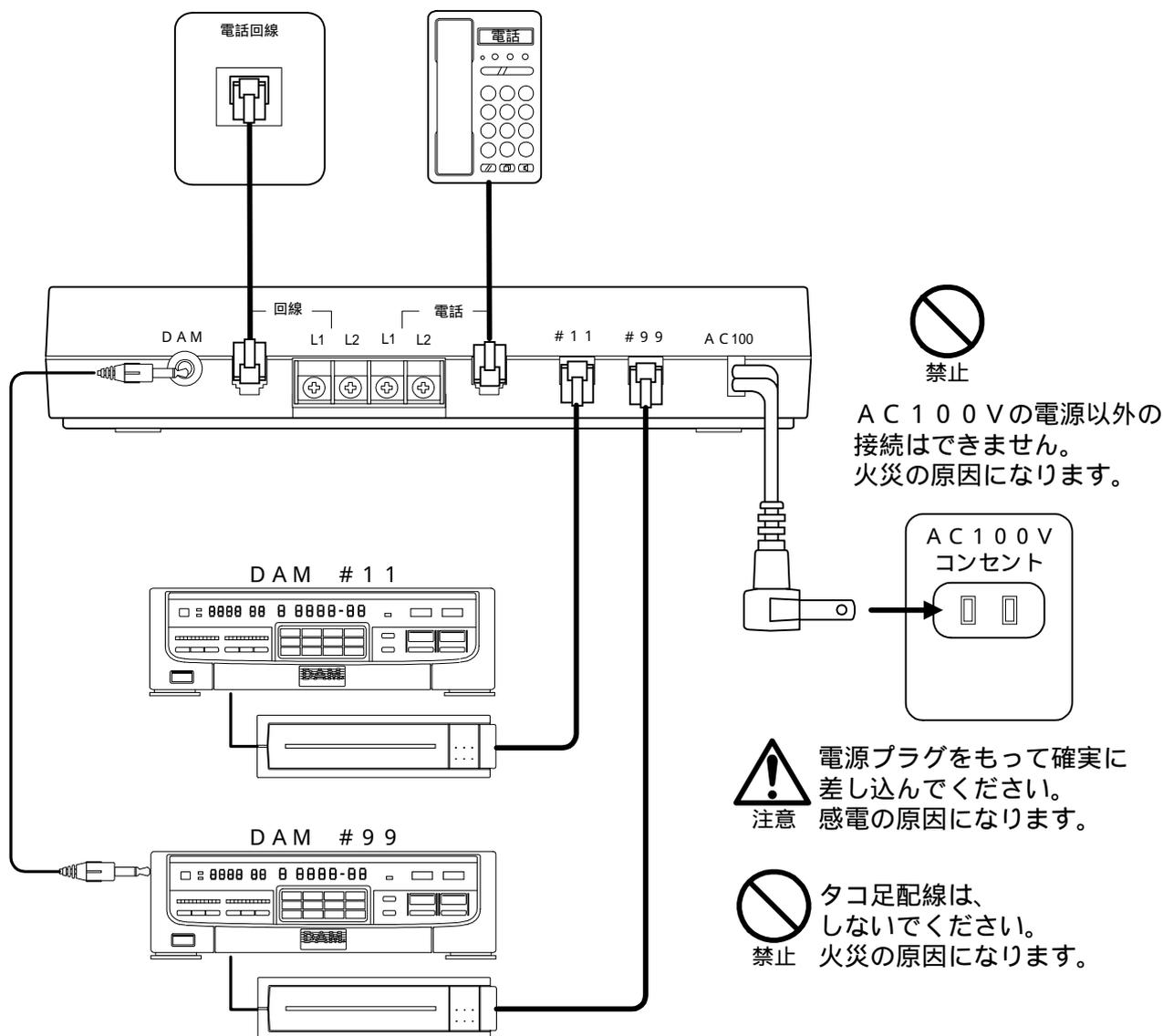
発信の確認は10円硬貨を入れて電話がかけられることを確かめてください。

キーを差し込んでの発信は、正しい確認ができません。

0120等のフリーダイヤルでは正しい確認ができません。

電源プラグを差し込みます

電話回線、電話機、DAMとモデムの接続が完了したら、電源プラグをもってAC100Vコンセントに差し込む。

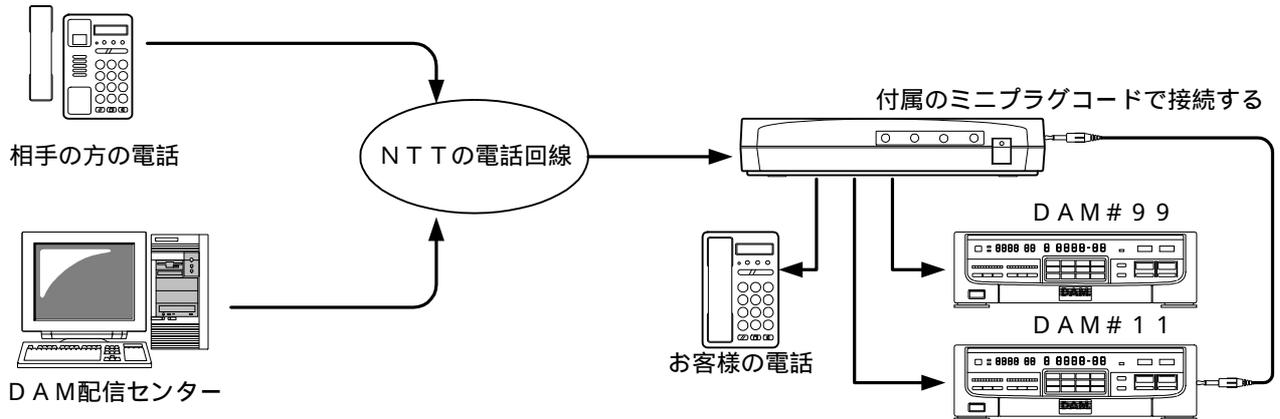


メモ 停電時は、自動切り替え等の動作は行いません。

電話回線と電話端子が接続され、全て（DAMの配信も）電話を呼び出します。

また、DAM # 1 1 端子とDAM # 9 9 端子は使用できなくなります。

基本動作 - ナンバーディスプレイ未加入時 -



メモ

DAM - CL3NDはDAMの電源の状態によって『電話固定モード』と『自動切替モード』を切り替えます。

DAM#11かDAM#99のどちらか1台と付属のミニプラグコードで接続する必要があります。

(接続しない場合は、切り替えは行われません。)

動作概要

DAMの電源が「ON」の場合『電話固定モード』

DAM - CL3NDは営業時間内とみなし、かかってきた電話は全て電話につながります。

DAMの電源が「OFF」の場合『自動切替モード』

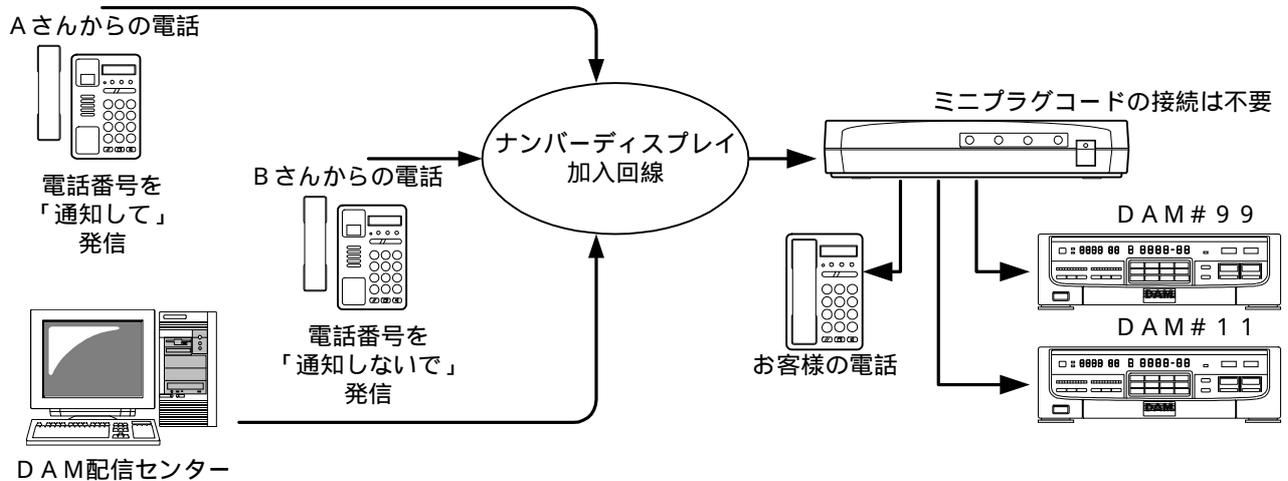
DAM - CL3NDは営業時間外とみなします。

電話がかかってくると、DAM - CL3NDは仮着信（受話器を上げる動作）をします。

DAM配信センターから識別信号が送られてくるか待ちます。
(DAMの配信か、電話からの発信か待機します。)

DAM配信センターから識別信号が送られてきた場合、指定の端子を呼び出します。
相手が電話からの発信の場合（識別信号がない場合）、自動切替監視時間の経過後、電話を呼び出します。

基本動作 - ナンバーディスプレイ加入時 -



メモ

ナンバーディスプレイサービスを契約していると、NTTから電話番号等、様々な信号が送られてきます。
 DAM - CL3NDはこのNTTから送られてくる信号をもとに、電話機、DAMの切り替えを行います。
 ・NTTから送られてくる信号の例
 「電話番号通知」（186）、「電話番号通知なし」（184）、「公衆電話から発信」等。

動作概要

電話番号を「通知して」かかってきた場合
 DAM - CL3NDは電話からの発信とみなし、電話を直接呼び出します。
 （電話固定モードと同様の動作）

電話番号を「通知しないで」かかってきた場合
 電話がかかってくると、DAM - CL3NDは仮着信（受話器を上げる動作）をします。
 DAM配信センターから識別信号が送られてくるか待ちます。
 （DAMの配信か、電話からの発信か待機します。）
 DAM配信センターから識別信号が送られてきた場合、指定の端子を呼び出します。
 相手が電話からの発信の場合（識別信号がない場合）、自動切替監視時間の経過後、電話を呼び出します。

動作例

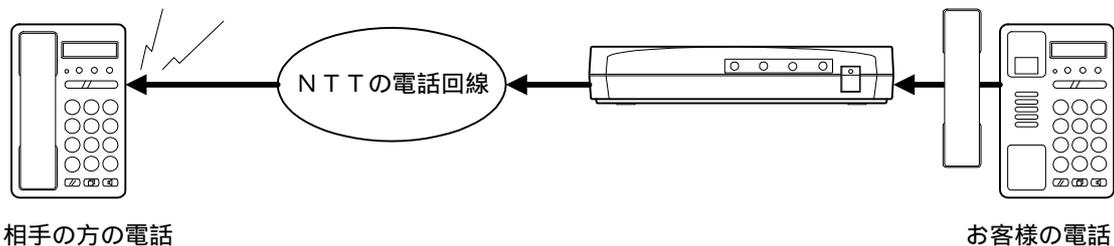
Aさんからの電話（電話番号を「通知して」発信）の場合
 DAM - CL3NDは電話を直接呼び出します。

Bさんからの電話（電話番号を「通知しないで」発信）の場合
 DAM - CL3NDは仮着信（受話器を上げる動作）をします。
 自動切替監視時間の経過後、電話を呼び出します。

DAMの配信（DAM配信は全て「通知しないで」発信になります）の場合
 電話がかかってくると、DAM - CL3NDは仮着信（受話器を上げる動作）をします。
 DAM配信センターから識別信号が送られてくるか待ちます。
 DAM配信センターから識別信号が送られてきた場合、指定の端子を呼び出します。
 識別信号がない場合、自動切替監視時間の経過後、電話を呼び出します。

基本操作を覚えましょう - 電話の操作 -

電話をかける



①

受話器を上げて、“ツー”という音を確認する。

②

電話番号をダイヤルし、相手の方が電話に出たらお話しください。

③

お話しがすんだら、受話器をおろす。

メモ

の操作で、受話器から“ツー ツー”という話し中の音が聞こえるときは、DAMの通信中なので、受話器をおろしてください。

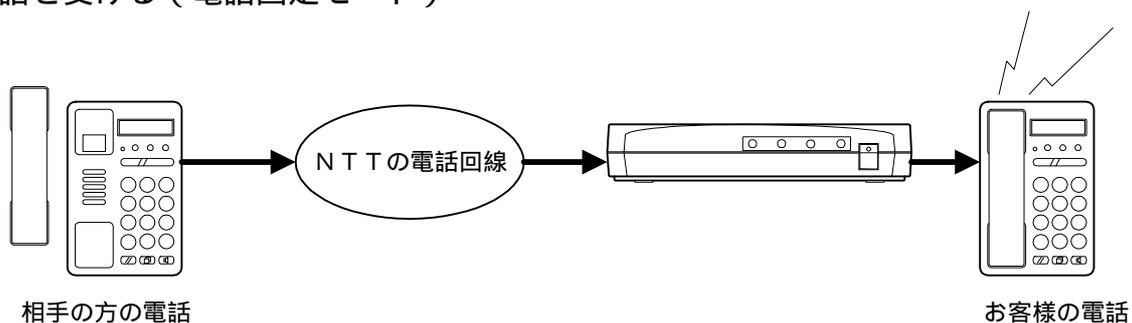
電話発信優先『あり』に設定されていると、3秒経ってから受話器を上げると電話の発信ができます。

電話発信優先『なし』に設定されている場合は、DAMの通信が終わってから、かけ直してください。

の操作で、お客様が受話器をおろして約2秒経ってから、本機はお話しが終わったと判断します。

(お話しが終わって続けて電話をかけるときは、約2秒ほど間をおいてください。)

電話を受ける（電話固定モード）

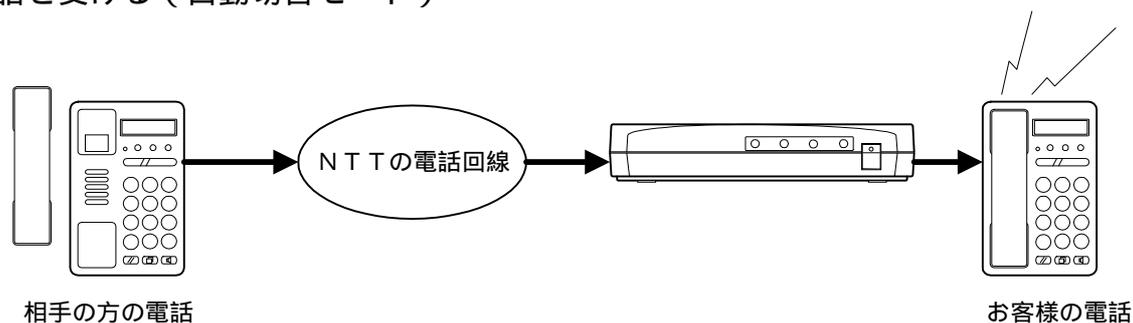


- ① 電話がかかってきたら、自動切り替えをせずに電話を直接呼び出す。
（相手の方には、この時点では通話料はかかりません。）
- ② 電話のベルが鳴る。
- ③ 受話器を上げて、お話しください。
（相手の方には、この時点から通話料がかかります。）
- ④ お話しがすんだら、受話器をおろす。

メモ

お客様が受話器をおろして約2秒経ってから、本機はお話しが終わったと判断します。
（お話しが終わって続けて電話をかけるときは、約2秒ほど間をおいてください。）

電話を受ける（自動切替モード）



①

電話がかかってきたら、本機が着信（受話器を上げる動作）する。
相手の方には、“ツルルルル”という呼び出し音が聞こえる。
（相手の方には、この時点から通話料がかかります。）

自動切り替え監視時間（8秒）中は、電話のベルが鳴りません。
相手が電話（DAMの配信以外）の場合、自動切り替え監視時間の経過後、
電話を呼び出す。

②

電話のベルが鳴る。
相手の方には、“ただいま呼び出しております、しばらくお待ちください。”という
応答メッセージが聞こえる。

電話を10回呼び出しても、受話器を上げない場合。
“呼び出しましたが近くにおりません、申し訳ございませんがおかけ直してください。”を
2回流して回線を切る（電話呼出回数制限）。

③

受話器を上げて、お話しください。

④

お話しがすんだら、受話器をおろす。

メモ

この動作中に、相手の方が電話の受話器をおろしたときは、NTTの回線から
相手の方が電話の受話器を、おろしたという信号を本機が認識し、その時点で動作を中断
します。

お客様が受話器をおろして約2秒経ってから、本機はお話しが終わったと判断します。
（お話しが終わって続けて電話をかけるときは、約2秒ほど間をおいてください。）

の動作中の自動切り替え監視時間を、DSW2-3で変更できます。（頁15参照）

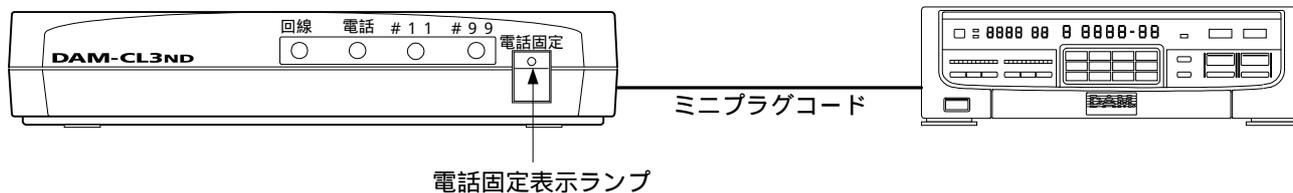
の動作中に電話のベルを鳴らすには、DSW1-1を『あり』に設定します。
（頁13参照）

の動作中の応答メッセージを、DSW1-3で『あり/なし』設定できます。
（頁14参照）

の動作中の電話呼出回数制限を、DSW1-5で『あり/なし』設定できます。
（頁14参照）

基本操作を覚えましょう - DAM -

営業を始めるとき



①

DAMのフロント電源スイッチを入れる。

②

本機は『電話固定モード』になる。

本機の前面『電話固定表示ランプ』が点灯していることを、確かめる。

外から電話がかかってくると、自動切り替えをせずに、電話を直接呼び出します。

(頁27参照)

メモ

取扱店の方へお願い。

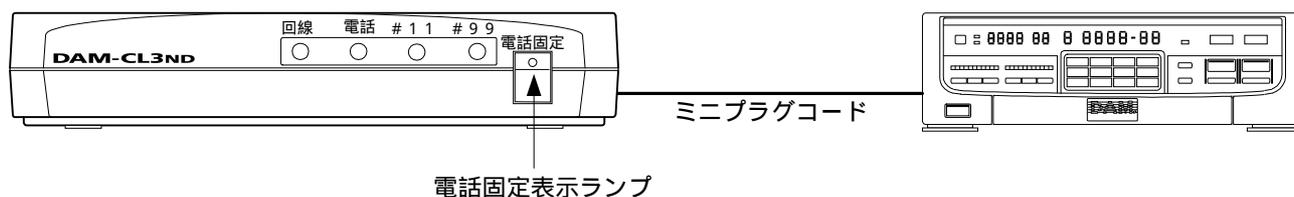
設置されているお店の方に、

『お店に来られたらすぐにDAMのフロント電源スイッチを入れてください。』と、ご案内ください。

アンプ、モニターの電源は、ご利用になるまでは入れなくてもけっこうです。

DAMのフロント電源スイッチが入っていない(OFF)とき、本機は『自動切替モード』になります。

営業を終了するとき



①

DAMのフロント電源スイッチを切る。

②

本機は『自動切替モード』になる。

本機の前面『電話固定表示ランプ』が消えていることを、確かめる。

外から電話がかかってくると、本機が着信（受話器を上げる動作）をします。
（この時点から相手の方には、通話料金がかかります。）

自動切り替え動作を行い、相手の方が電話のとき着信から8秒後、電話を呼び出します。

（頁28参照）

メモ

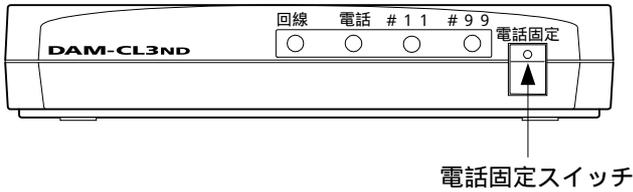
取扱店の方へお願い。

設置されているお店の方に、
『営業を終了したら、DAMのフロント電源スイッチを切ってください。』と、
ご案内ください。

DAMのフロント電源スイッチが入ったまま（ON）では、本機は『電話固定モード』となりDAMの配信が受けられなくなります。

基本操作を覚えましょう - 電話固定スイッチ -

自動切替モードにする



- 1 電話固定表示ランプが点灯していることを確かめる。
- 2 電話固定表示ランプが消えるまで『電話固定スイッチ』を押す。
- 3 電話固定表示ランプが消え『自動切替モード』に切り替わる。

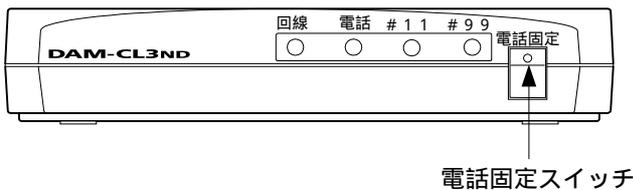
メモ

の操作で、電話固定表示ランプが消えているときは、既に『自動切替モード』になっています。

電話固定スイッチを押して、『自動切替モード』に切り替えた場合は、DAMのフロント電源スイッチを入れても、『電話固定モード』に変わりません。一度、DAMのフロント電源スイッチを切ってから再度DAMのフロント電源スイッチを入れてください。

ナンバーディスプレイ対応『あり』に設定時は、電話固定スイッチで動作モードを切り替えることはできません。

電話固定モードにする



- 1 電話固定表示ランプが消えていることを確かめる。
- 2 『電話固定スイッチ』を押す。
- 3 電話固定表示ランプが点灯し『電話固定モード』に切り替わる。

メモ

の操作で、電話固定表示ランプが点灯しているときは、既に『電話固定モード』になっています。

こんなときには

ナンバーディスプレイサービスを利用する

メモ

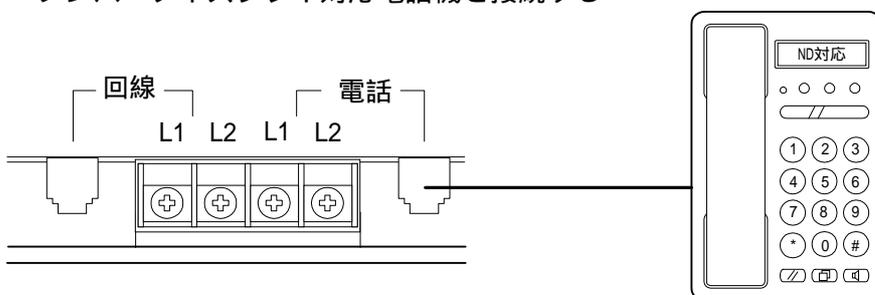
サービスを利用するには、本機の電話端子に接続した電話機が、ナンバーディスプレイに対応しているか、ナンバーディスプレイ対応アダプタ（表示アダプタ）を接続する必要があります。（ナンバーディスプレイ対応かどうかは、ご使用の電話機の取扱説明書を参照ください。）サービスを利用するには、NTTへナンバーディスプレイサービスの申し込みが必要です。（月額使用料および工事費が必要です。）

メモ

ナンバーリクエストサービスを申し込まれると、DAMの配信ができなくなります。

ナンバーリクエストサービスの申し込みは行わないでください。本機の「電話番号通知なし」おことわり機能をご使用ください。（頁35参照）

ナンバーディスプレイ対応電話機を接続する

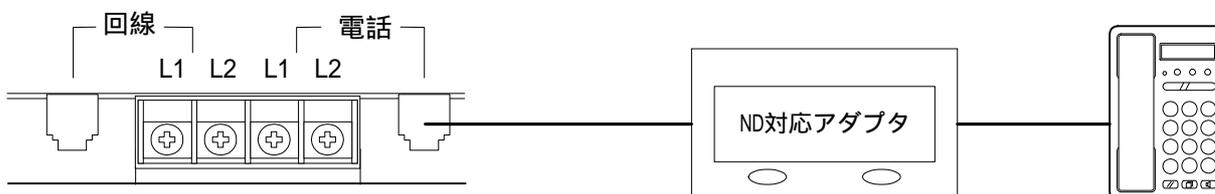


本機の電話端子にナンバーディスプレイ対応電話機を接続する。

電話機をナンバーディスプレイのサービスが利用できる様に設定する。（設定方法は、ご使用の電話機の取扱説明書を参照ください。）

本機裏面の設定スイッチ（DSW2-1）をナンバーディスプレイ対応『あり』に設定する。

ナンバーディスプレイ対応アダプタを接続する

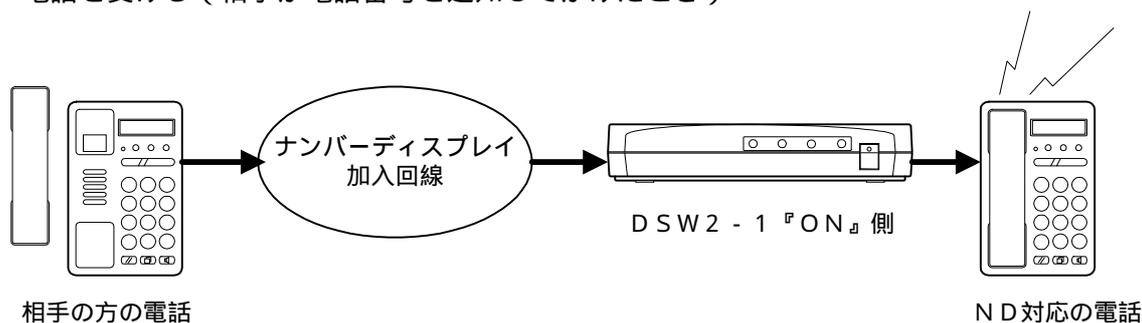


本機の電話端子とナンバーディスプレイ対応アダプタの回線端子を接続する。

ナンバーディスプレイ対応アダプタの電話端子と電話機を接続する。

本機裏面の設定スイッチ（DSW2-1）をナンバーディスプレイ対応『あり』に設定する。

電話を受ける（相手が電話番号を通知してかけたとき）



①

電話がかかってきたら、電話のベルが鳴る前に、電話番号情報を受信する。

電話番号の受信が終わったら、自動切り替えせずに電話を直接呼び出す。
（相手の方には、この時点では通話料はかかりません。）

②

電話のベルが鳴る。

相手の電話番号が表示される。

③

受話器を上げて、お話しください。
（相手の方には、この時点から通話料がかかります。）

④

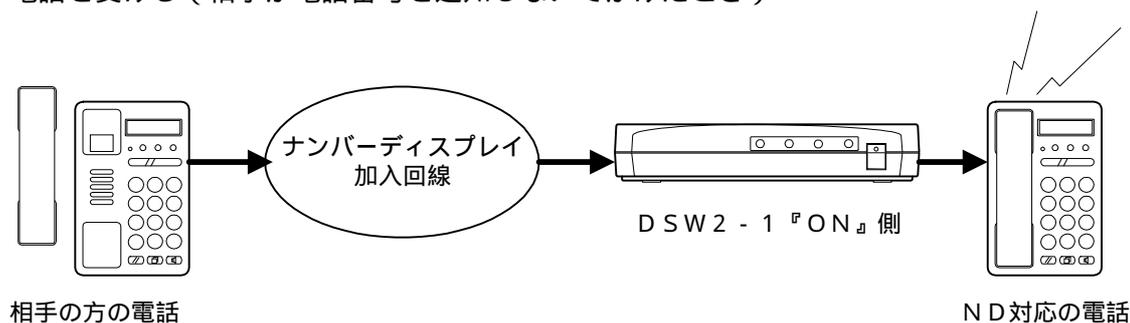
お話しがすんだら、受話器をおろす。

メモ

の操作で、お客様の電話機の設定によっては、電話機のベルを鳴らさなかったりします。
（ご使用の電話機の取扱説明書を参照ください。）

の操作で、公衆電話、表示圏外の場合は、電話番号は表示されません。
コウシュウ、ケンガイ等の表示がされます。
（ご使用の電話機の取扱説明書を参照ください。）

電話を受ける（相手が電話番号を通知しないでかけたとき）



メモ

電話番号を通知しないでかけるとは、
電話番号の前に、1 8 4 をつけて電話をかけた。
または、「回線ごと非通知」の契約をしている回線からかけた場合を云います。

1

電話がかかってきたら、電話のベルが鳴る前に、電話番号情報を受信する。

電話番号情報が非通知（ユーザ拒否）を受信の場合、電話を呼び出す前に、
回線と電話を切り離す。

（相手の方には、この時点では通話料はかかりません。）

2

本機が着信（受話器を上げる動作）する。
相手の方には、“ツルルルル”という呼び出し音が聞こえる。
（相手の方には、この時点から通話料がかかります。）

自動切り替え監視時間（8秒）中は、電話のベルが鳴りません。
相手が電話（DAMの配信以外）の場合、自動切り替え監視時間の経過後、
電話を呼び出す。

3

電話のベルが鳴る。

電話番号は表示されません。

4

受話器を上げて、お話しください。

5

お話しがすんだら、受話器をおろす。

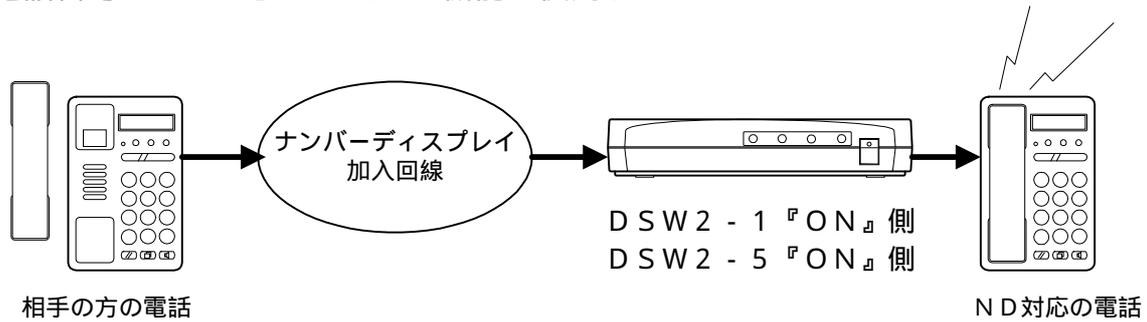
メモ

の操作以降は、『自動切替モード』の動作と同じです。（頁28参照）

ご使用の機器によっては、の操作で、受信エラー、等を表示することがあります。
（ご使用の電話機の取扱説明書を参照ください。）

ご使用の機器によっては、電話に応答したのに、未応答、等を表示することがあります。
（ご使用の電話機の取扱説明書を参照ください。）

「電話番号通知なし」おことわり機能を使用する



メモ

電話番号を通知しないでかけるとは、
電話番号の前に、1 8 4 をつけて電話をかけた。
または、「回線ごと非通知」の契約をしている回線からかけた場合を云います。

1

電話がかかってきたら、電話のベルが鳴る前に、電話番号情報を受信する。

電話番号情報が非通知（ユーザ拒否）を受信の場合、電話を呼び出す前に、
回線と電話を切り離す。
（相手の方には、この時点では通話料はかかりません。）

2

本機が着信（受話器を上げる動作）する。
相手の方には、“ツルルルル”という呼び出し音が聞こえる。
（相手の方には、この時点から通話料がかかります。）

自動切り替え監視時間（8秒）中は、電話のベルが鳴りません。
相手が電話（DAMの配信以外）の場合、自動切り替え監視時間の経過後、
以下のメッセージを2回流して回線を切る。（受話器を下ろす動作）

・メッセージ

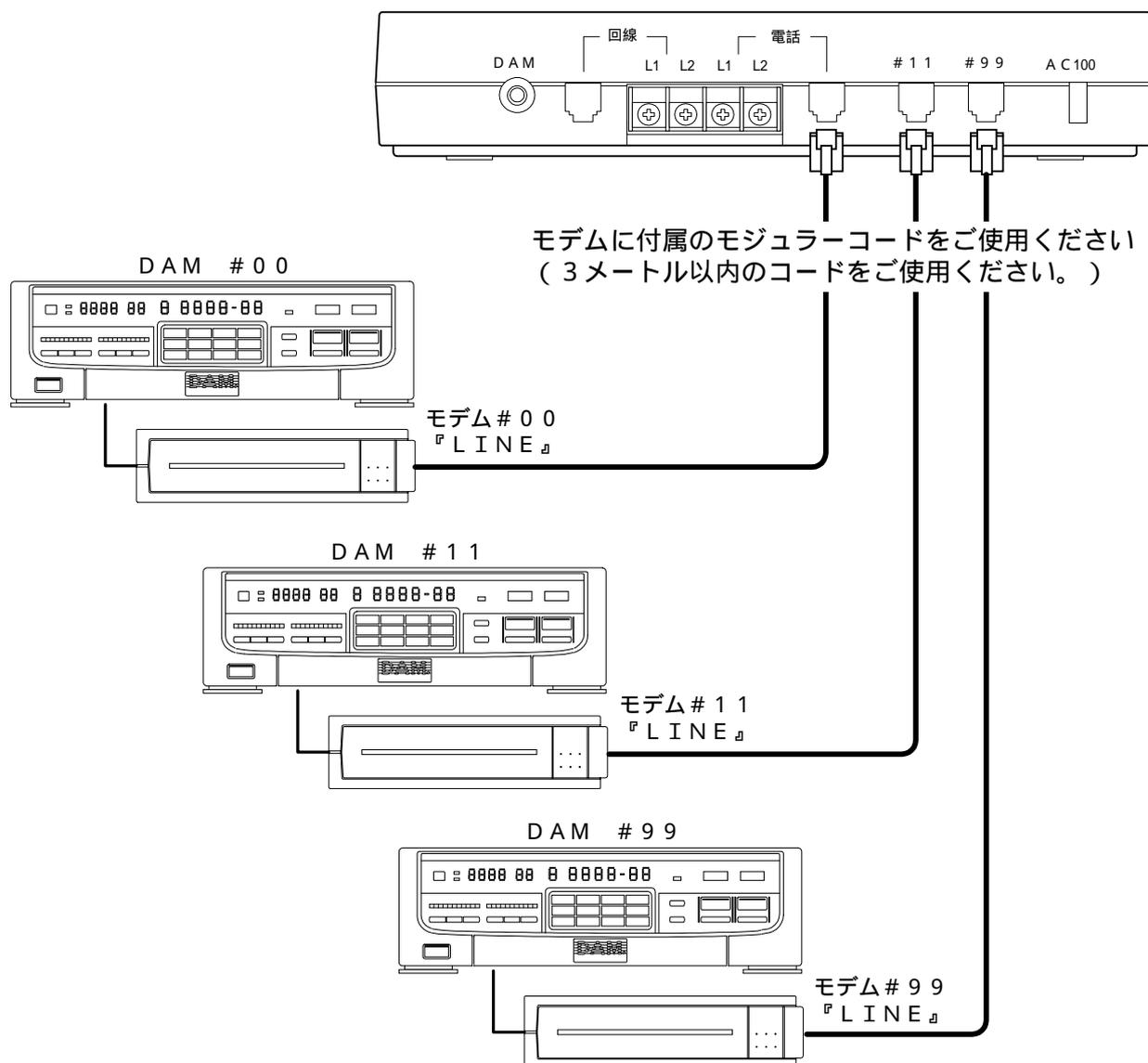
“申し訳ございませんが電話番号の前に、1、8、4、をつけておかけ直してください。”

メモ

ご使用の機器によっては、 の操作で、受信エラー、等を表示することがあります。
（ご使用の電話機の取扱説明書を参照ください。）

ご使用の電話機に、同様の機能が有る場合、必ず機能を無効にしてください。
（ご使用の電話機の取扱説明書を参照ください。）

DAMを3台接続する



DSWの設定

DSW 2 - 2 「パワーON時の動作モード」は必ず『自動切替』（ON側）に設定してください。

『電話固定』になっていると#00以外のDAMに配信が行われません。

その他のDSWは工場出荷の状態で使用してください。

メモ

モデムの接続コードを長くのばすとき、0.4-1Pツイウチセン（相当品）をご使用ください。市販の長いモジュラーコードでは、DAMの配信などの通信に傷害を及ぼすことがあります。

メモ

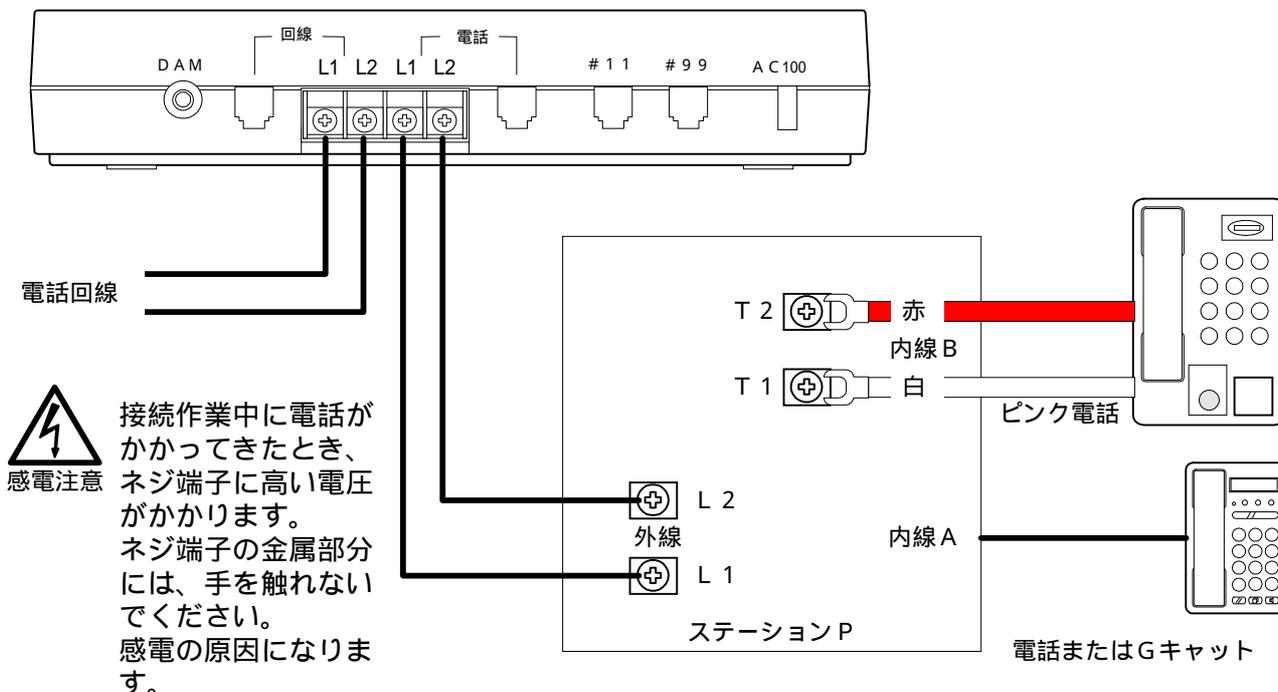
DAMとモデムの接続が完了したら、本機を『自動切替モード』にしてから開局発信を行ってください。
本装置前面の電話固定表示ランプが点灯しているとき、電話固定スイッチを電話固定表示ランプが消えるまで押してください。
電話固定表示ランプが消えているときは、そのまま開局発信を行ってください。

ピンク電話切替機（ステーションP等）を接続する

メモ

そのままでは接続することができませんので、お買い求めの取扱店にご相談ください。
（ネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。）
接続には、必ず付属のネジ端子用ネジをご使用ください。

ピンク電話機を接続するとき同様に、必ず回線の極性を合わせてから接続してください。
回線の極性を正しく合わせないと、正常に動作しません。



電話回線を、本機の電話回線ネジ端子に接続する。
回線の極性が L 1 がプラスであることを確認する。（頁 18 参照）

本機の電話機ネジ端子の L 1 を、ステーション P の外線の L 1 に接続する。
本機の電話機ネジ端子の L 2 を、ステーション P の外線の L 2 に接続する。

ステーション P の内線 B の T 1 に、ピンク電話機の白色線を接続する。
ステーション P の内線 B の T 2 に、ピンク電話機の赤色線を接続する。

内線 A に電話または G キャットを接続する。

ピンク電話機と電話または G キャットの動作を確かめる。

メモ

でステーション P の内線 A にピンク電話を接続するときは、

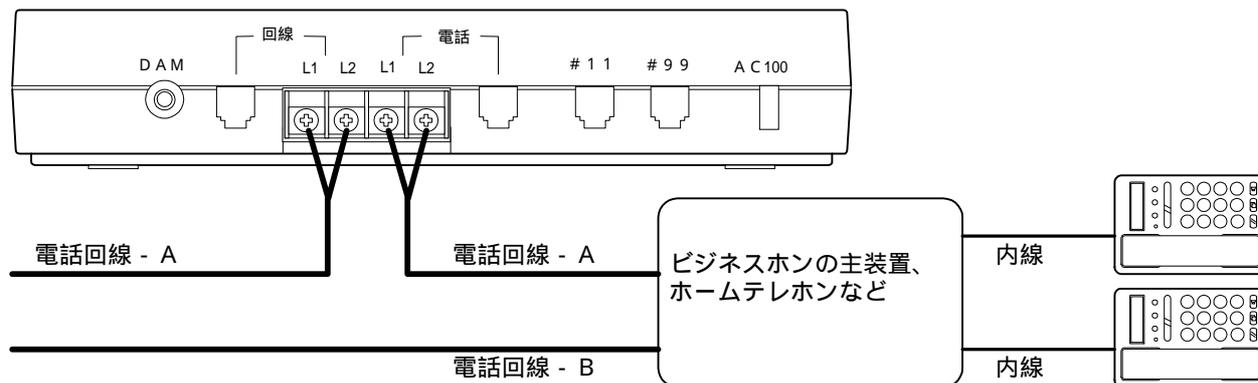
ステーション P の内線 A の T 3 に、ピンク電話機の白色線を接続してください。
ステーション P の内線 A の T 4 に、ピンク電話機の赤色線を接続してください。

ビジネスホンの主装置を接続する

メモ

そのままでは接続することができませんので、お買い求めの取扱店にご相談ください。
(ネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。)
接続には、必ず付属のネジ端子用ネジをご使用ください。

ご使用になる機器によっては、回線の極性を合わせて接続しないと正常に動作しないことがあります。
ご使用機器の取扱説明書を参照ください。



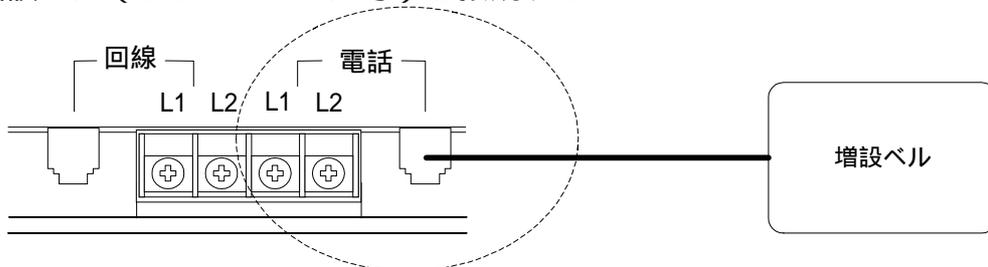
接続作業中に電話がかかってきたとき、ネジ端子に高い電圧がかかります。
ネジ端子の金属部分には、手を触れないでください。
感電の原因になります。

本機に接続する側の電話回線（上図では電話回線 - Aとする）を、
本機の電話回線ネジ端子に接続する。
電話回線の極性がL1がプラスであることを確認する。（頁18参照）

本機の電話回線ネジ端子のL1を、主装置の電話回線 - A側のL1に接続する。
本機の電話回線ネジ端子のL2を、主装置の電話回線 - A側のL2に接続する。
(ご使用の機器により、主装置の表示は異なります、ご使用機器の取扱説明書を参照ください。)

電話機の発信、着信の確認を行う。

増設ベル（フラッシュベル等）を接続する

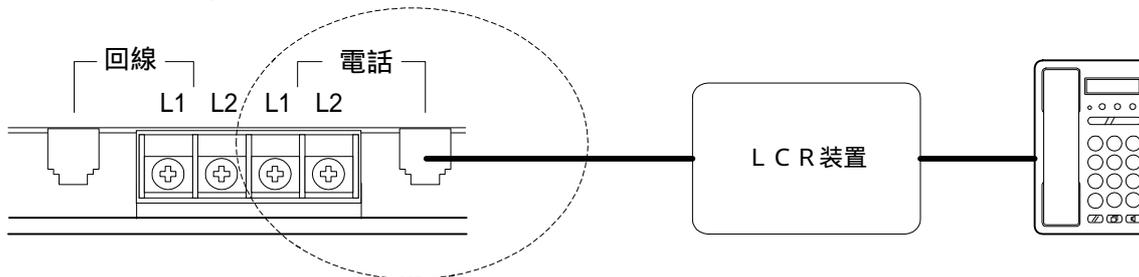


メモ

必ず、電話側に電話機とブランチ（パラ接続）で、接続してください。
回線側に接続すると『自動切替モード』のとき、動作しません。
(回線側に接続していても『電話固定モード』のときは、正常に動作します。)

その他の装置を接続する

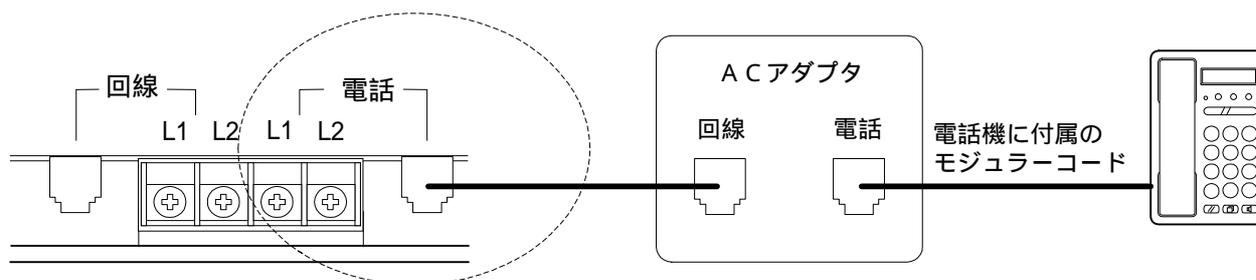
L C R 装置を接続する



メモ

必ず、電話側に接続してください。
回線側に接続すると、『自動切替モード』のとき、正常に動作しません。

電話機用 A C アダプタにモジュラーコネクタがついてる機器を接続する



メモ

A C アダプタの『回線または L I N E』と表示された端子と、本機の電話端子を接続してください。
A C アダプタの『電話または T E L』と表示された端子と、電話機を付属のコードで接続してください。
(機種によってはモジュラーコードが付属せずに、直接 A C アダプタからコードが出ている場合があります、同様に電話機に接続してください。)
本機の電話端子に直接電話機を接続した場合、電話機は正常に動作しません。

故障かな？と思ったら

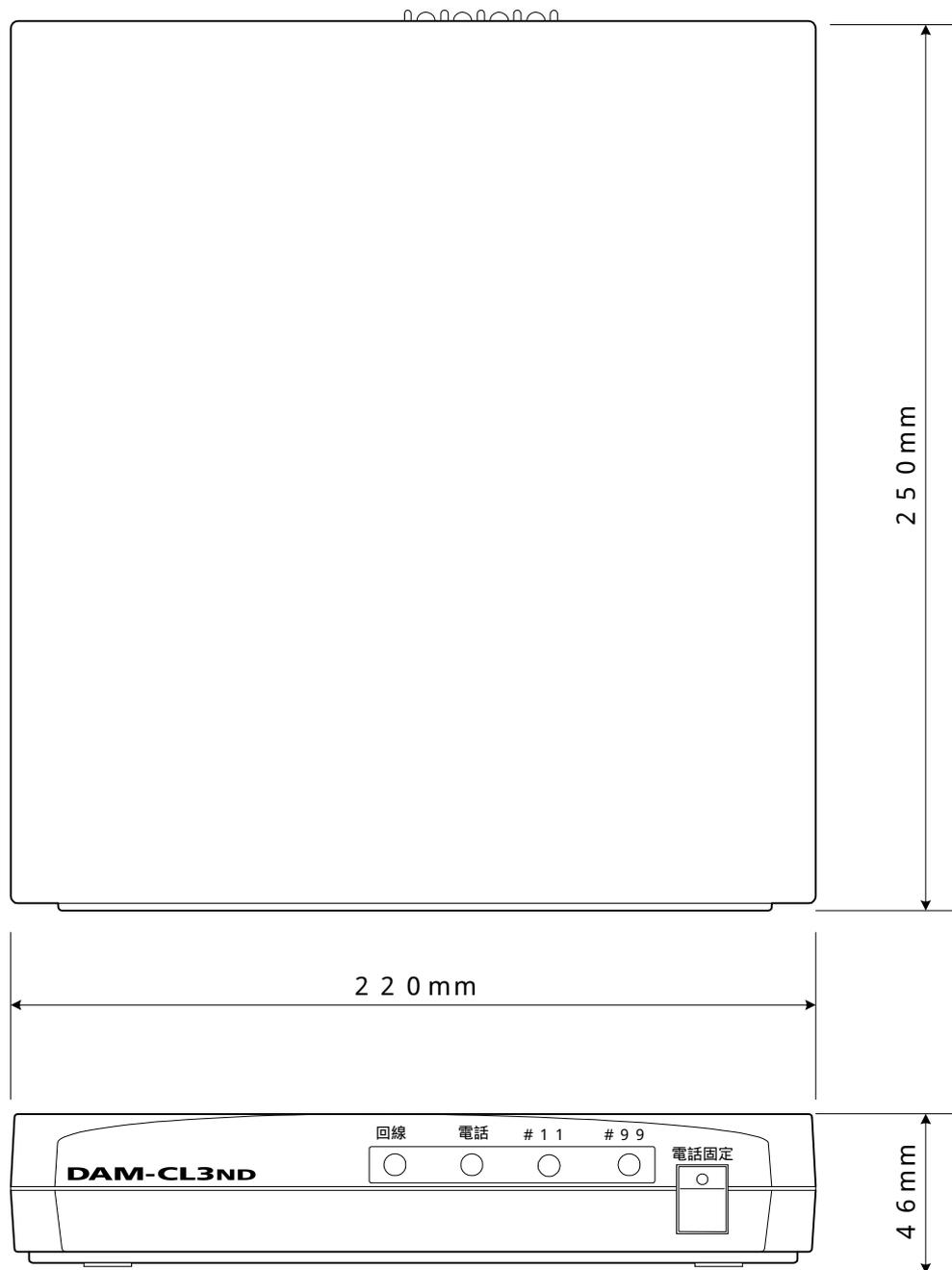
症 状	チェック	対処法
表示ランプが全て消えている。	電源プラグは正しくAC100Vコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをもってAC100Vコンセントに差し込む。 (頁23参照)
電話がかけられない。	電話のモジュラーコードは正しく接続されていますか？ ピンク電話機をお使いのとき回線の極性が逆に接続されていませんか？ ピンク電話機の極性が逆に接続されていませんか？ 電話発信優先『なし』設定のときDAMの配信中ではありませんか？ 電話発信優先『あり』設定のときDAMの配信中ではありませんか？	電話のモジュラーコードを電話端子に差し込む。 (頁20参照) 電話回線の極性を正しく接続する。 (頁18～19参照) ピンク電話機の極性を正しく接続する。 (頁21参照) DAMの配信中は電話できません。 DAMの配信が終わるまで待ってかけ直す。 (頁13・26参照) 受話器を下ろして、再度かけ直す。 (頁13・26参照)
電話固定モードで電話が受けられない。	電話のモジュラーコードは正しく接続されていますか？	電話のモジュラーコードを電話端子に差し込む。 (頁20参照)
自動切替モードで電話が受けられない。	電話固定モードだと受けられますか？ 電話のベルが1回だけ鳴りませんか？ LCR装置が回線側に入ってませんか？	呼び出しベルの周波数を変える。 (頁16参照) 電話機が回線側に接続されています。 電話のモジュラーコードを電話端子に差し込む。 (頁20参照) 種類によっては誤動作する場合があります。 LCR装置を電話側に接続する。 (頁39参照)
ナンバーディスプレイ対応モードで電話が受けられない。	「電話番号通知なし」おことわり機能『あり』のとき相手が184をつけて電話をかけていませんか？ 電話機のナンバーディスプレイ機能は有効になっていますか？ 本機のナンバーディスプレイ対応『なし』になっていますか？	相手に186をつけて電話をかけてもらうか「電話番号通知なし」おことわり機能を『なし』にする。 (頁35参照) 電話機のナンバーディスプレイ機能を有効にする。 (電話機の取扱説明書参照) ナンバーディスプレイ対応『あり』にする。 (頁32参照)
コールバックがこないエラーで、開局発信できない。	電話固定モードになっていませんか？ 電話や他のDAMがうけてませんか？	電話固定モードでは開局発信できません。 自動切替モードにする。 (頁31参照) 開局発信で入力した内容を確認する。
その他のエラーで、開局発信できない。	電話が使われてませんか？	電話が終わってから再度、開局発信する。

仕様及び外観

DAM - CL3NDの主な仕様

外形寸法	250mm×220mm×46mm (奥行 幅 高さ)
重量	1.2Kg
消費電力	待機時：約5W 動作時最大：約12W
電源周波数	50/60Hz
電源電圧	AC100V±10%
使用環境	温度：0 ~ 40 湿度：20% ~ 80% (結露無きこと) (結露無きこと)
保存環境	温度：-10 ~ 60 湿度：10% ~ 90% (結露無きこと) (結露無きこと)
収容回線数	1回線
適用回線	一般加入者回線 (ナンバーディスプレイサービス対応)
直流抵抗値	228.5
回線接続方式	モジュラーコネクタまたはネジ端子
内線数	3回線
電話機接続可能台数	1台 (ナンバーディスプレイサービス対応)
DAM接続可能台数	最大3台 (電話端子にDAMを接続したとき)
電話機接続方式	モジュラーコネクタまたはネジ端子
DAM接続方式	モジュラーコネクタ
切り替え方式	PB信号 (#00、#11、#99)
制御信号端子数	1端子
制御信号接続方式	ミニプラグ

DAM - CL3NDの外観



メモ

仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

サービスについて

保証について

保証期間

お買い上げ日より1年です。

保証書の記載内容に基づいて無償にて修理が受けられる期間です。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているときは

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

- ・ 技術料 故障した製品を正常に修復するための修理工賃です。
- ・ 部品代 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部品等を含む場合もあります。
- ・ 送料 修理上がり品を発送する場合に別途申し受けます。

補修用性能部品の最低保有期間は

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、最低8年です。

補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

製品の状況は詳しく

サービスをご依頼になるときは製品の故障状況を、できるだけ詳しくお知らせください。

また製品の機種名、製造番号などもあわせてお知らせください。

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

『保証書』をご提示されないとき。

『保証書』の所定事項の未記入または字句の訂正をされたとき。

お客様のお取り扱いが適正でないために生じた故障のとき。

(落とされたり、内部に手を加えられたり、水に濡らされたり、など)

火災、地震、水害、落雷その他天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障のとき。

取扱説明書に記載されていないようなご使用方法、注意事項を無視したご使用による原因で故障したとき。

弊社、または弊社の指定する取扱店以外で、故障修理を行われたり、改造されたりしたとき。

愛情点検



長年ご使用のために本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
電源コードに深いキズが変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電気を入れても正常に動作しない。
その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため、電源プラグをAC100Vコンセントから抜き
(素手ではなく、必ず厚手の手袋か布を使用して)必ず取扱店に
点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は取扱店にご相談ください。

株式会社 第一興商

取扱店	修理ご相談窓口
	株式会社第一興商 関東地区(03)3280-2161 関西地区(06)6245-6591